沖縄総合事務局 広報誌 ✦ 第428号

# むりぶし

群星 muribushi

2026／隔月発行
November-December
11・12
月号



特集

- AIが切り拓く沖縄農業の未来
- 高付加価値観光地づくりと沖縄の魅力
  ～地域に息づく豊かさを未来へつなぐ～

# 就任の御挨拶

この度、沖縄担当大臣を拝命いたしました葉梨康弘です。

沖縄政策という重要な課題を担当することとなり、身の引き締まる思いです。これまでの経験等も活かし、また、地元の皆様の御意見を丁寧に伺いながら、沖縄の発展に全力で取り組んでいく所存です。

先日、一日でも早く現地を訪れたいとの思いから、国立沖縄戦没者墓苑を参拝し、戦禍に遭われた御霊に対して謹んで哀悼の誠を捧げ、沖縄の発展のために力を尽くしていくことをお誓いするとともに、県知事や県議会議長らと直接お会いして、沖縄が抱える課題等について意見交換いたしました。

昭和47年の本土復帰以降、政府においては、各種社会資本整備や産業振興など、多岐にわたる沖縄振興に取り組んできました。それらと、沖縄県民の皆様のたゆまぬ努力が相まって、県内総生産や就業者数が全国を上回る伸びを見せているほか、沖縄のリーディング産業である観光産業については、令和7年度の観光収入と入域観光客数が過去最高を記録するなど、沖縄経済は着実に成長しています。

しかしながら、全国最下位の一人当たり県民所得やこどもの貧困問題など、なお解決すべき課題が存在しています。一方で、沖縄はアジアの玄関口に位置する地理的特性や日本一高い出生率など、他県にはない優位性・潜在力を有しています。

沖縄が抱える様々な課題の解決に向けた地元の取組を支援するとともに、沖縄の持つ優位性と潜在力を活かしながら、「強い沖縄経済」の実現に向けて、基地跡地の利用も含め、国家戦略として沖縄振興策を総合的・積極的に推進してまいります。

**内閣府特命担当大臣　葉梨（はなし）　康弘（やすひろ）**



令和8年9月17日付けで、沖縄及び北方対策を担当する内閣府特命担当大臣に、葉梨康弘衆議院議員が就任しました。

**経歴**

平成15年11月　衆議院議員初当選
平成17年9月　衆議院議員二期目当選
平成24年12月　衆議院議員三期目当選
平成25年9月　財務大臣政務官
平成26年9月　法務副大臣兼内閣府副大臣
平成26年12月　衆議院議員四期目当選
平成29年8月　法務副大臣兼内閣府副大臣
平成29年10月　衆議院議員五期目当選
平成29年11月　法務副大臣兼内閣府副大臣
令和2年9月　農林水産副大臣
令和3年10月　衆議院議員六期目当選
令和4年8月　法務大臣
令和6年10月　衆議院議員七期目当選
令和8年2月　衆議院議員八期目当選
令和8年9月　内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）等

**趣味**

読書、ランニング

**座右の銘**

民信なくば立たず

# 副大臣及び大臣政務官のプロフィール

## 内閣府副大臣に 今井（いまい） 絵理子（えりこ） 氏が就任



令和8年9月18日付けで、沖縄及び北方対策を担当する内閣府副大臣に、今井絵理子参議院議員が就任しました。

**経歴**

平成28年7月　参議院議員初当選
令和元年9月　内閣府大臣政務官
令和4年7月　参議院議員二期目当選
令和6年11月　内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官
令和8年9月　内閣府副大臣（沖縄及び北方対策等）

**趣味**

音楽、ゴルフ

**座右の銘**

和顔愛語（わげんあいご）

## 内閣府大臣政務官に 坂本（さかもと） 竜太郎（りゅうたろう） 氏が就任



令和8年9月18日付けで、沖縄及び北方対策を担当する内閣府大臣政務官に、坂本竜太郎衆議院議員が就任しました。

**経歴**

令和6年10月　衆議院議員初当選
令和8年2月　衆議院議員二期目当選
令和8年9月　内閣府大臣政務官（沖縄及び北方対策等）

**趣味**

御朱印集め、各地のグルメ体験（特にチーズケーキ）

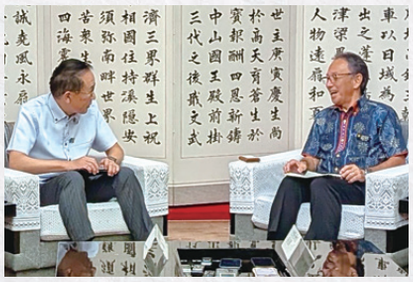
**座右の銘**

千里同風

## 葉梨大臣の沖縄訪問

葉梨沖縄担当大臣は9月24日、大臣就任後初めて沖縄県を訪問しました。
国立沖縄戦没者墓苑へ参拝・献花をした後、玉城沖縄県知事や中川沖縄県議会議長らと意見交換を行いました。


国立沖縄戦没者墓苑での参拝・献花


玉城沖縄県知事との意見交換


中川沖縄県議会議長らとの意見交換

428号
2026
November-December

# むりぶし
群星 muribushi

**本誌のタイトルについて**

**群星**（むりぶし）とは、
沖縄の方言で「昴星（すばるぼし）」のことで
「ぶりぶし」、「むるぶし」とも呼ばれます。


## ✦就任の挨拶

1 **内閣府特命担当大臣就任の御挨拶・副大臣及び大臣政務官のプロフィール**

## ✦連載企画

3 **さんぺいの沖縄そば紀行　第4話**

18 **沖縄の伝統的工芸品　その3**

## ✦特集

4 特集① **AIが切り拓く沖縄農業の未来**

6 特集② **高付加価値観光地づくりと沖縄の魅力**
**～地域に息づく豊かさを未来へつなぐ～**

## ✦仕事の窓

8 ① おしえて！どっきん!! ～公正取引委員会の広報・広聴活動～

10 ② 我が国の財政の現状や政府の取組を情報発信

11 ③「食の安全・安心に関するweb講演」を開催しました

12 ④ 特定家畜伝染病の発生に備え、防疫作業説明会を開催

⑤ 消費者の部屋 夏休み特別講座
『親子見学バスツアー』を開催しました

13 ⑥ キッチンの排水口のその先は？～汚泥が肥料になるまで～

14 ⑦ 沖縄県産農林水産物・食品のポップアップストアを開催しました！

⑧ 沖縄の魅力的な特産品を海の向こうへ！
～海外展開のセミナーを開催しました～

15 ⑨「おきなわ書店MAP」を作成しました！

16 ⑩ コンプライアンスに関する出前講座の案内

⑪ ゴヤガジュマル再生への歩み　～これまでの経緯～

17 ⑫ 令和８年度船員労働安全衛生月間の実施

## ✦なかゆくい

19 クイズ（うちな～んQ）・おしごと紹介【運輸部】・採用担当のひとこと

## ✦お知らせ

20 農業者の老後に安心を　農業者年金の６つのポイント

21 11月は事業承継啓発月間


## 表紙写真
「電照菊」（うるま市）



今回の表紙写真は、夜のドライブ中に偶然見つけた「電照菊」の風景です。

夜景の撮影を趣味としていた私は、この日も被写体を求めて沖縄北インターチェンジからうるま市方面へ車を走らせていました。すると、暗闇の中にひときわ明るく光る一帯を発見。近づいてみると、畑一面を電球が照らしており、県外出身の私にとって初めて目にする光景だったため、思わずカメラを向けました。

実は、その時点では「電照菊」というものを知らず、後になって調べて初めてその名前を知りました（照）。

電照菊は冬の沖縄を代表する風景の一つで、「キクミネーション」とも呼ばれ、地元の方々はもちろん、近年では観光客にも親しまれています。一般的に12月から３月頃にかけて見頃を迎えるようで、夜の畑に広がる温かな光が幻想的な景色をつくり出しています。

総務部 防災・危機管理課
木下　亮

## うちな～んQ 今日から使える沖縄雑学クイズ 問題



東村慶佐次（ばさし）湾のヒルギ林に生息するヒルギの種子はどのように発芽するでしょうか？

①地面に落下した後に発芽
②親木についたまま発芽
③水面を浮遊しながら発芽

答えはP19!

沖縄そば発信家

# さんぺいの沖縄そば紀行

沖縄美味

## 第4話 沖縄そばの新具材

皆さん、沖縄そばの具と言えば何を思い浮かべるでしょうか？

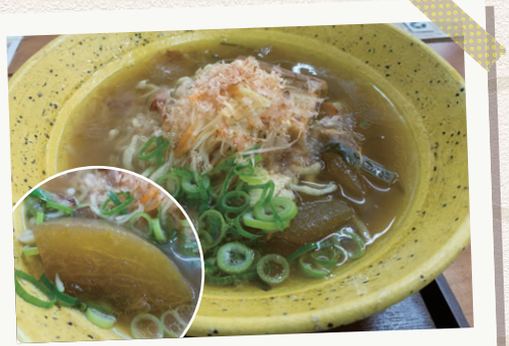
伝統的な三枚肉、最近人気の軟骨ソーキ、ゆし豆腐が好きという方もいらっしゃるかもしれません。沖縄そば専門店に行くと、他にもてびちそば、中味そばなど様々なメニューが並んでいます。明治後期に原型が成立した沖縄そばは、三枚肉、かまぼこ、ネギ、紅生姜がベーシックな具材とされ、戦後、ソーキなど新しい具材が生まれてきました。沖縄そばは、沖縄にある素材を載せるいわば器のような



車麸・スープを染み込ませて食べる

私が、今後さらに広まっていくのではないかと考えている沖縄そばの具材をいくつか紹介したいと思います。

一つ目は、「麸（ふ）」、グルテンを主な原料とした加工食品です。全国的には味噌汁の具としてメジャーなお麸ですが、沖縄では、ふーちゃんぷるーなど炒めものに多く用いられ家庭料理の中でも親しみのある具材です。最近、沖縄そば屋の中でも麸を用いる店が出てきました。特徴としてルックスのインパクトと独特の食感が挙げられます。



冬瓜（シブイ）・トロっとした食感が特徴

二つ目は、「冬瓜（とうがん）」。沖縄では「シブイ」の名で親しまれている夏野菜で、煮物や汁物として食べることが多い食材です。元々汁物として親しまれてきたため、沖縄そばのスープにも実はよく合い、トロリとした食感と優しい味わいが魅力。シブイを具材に取り入れようとチャレンジしている沖縄そば屋が複数あります。

三つ目は、「あおさ（アーサ）」。アーサは沖縄に自生する海藻で、古くから汁物や天ぷらの具材として沖縄の家庭で親しまれてきました。最近では、「アーサそば」を提供したり、トッピングとして用いる店が増えてきています。アーサの魅力は沖縄そばに磯の香りをプラスし風味を豊かにしてくれること。特に魚介系スープとの相性は抜群です。観光客にも人気で、「沖縄らしさ」を演出してくれる役割もあるのではないでしょうか。



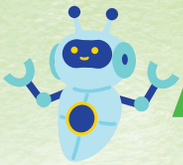
アーサ・磯の風味が特徴

簡単に挙げただけでもこれだけある沖縄そばの新具材候補。他にも、もずくは既に人気になっていますし、海ブドウを載せる店も出てきています。調理方法によってはゴーヤーや島らっきょう、パパイヤなどとの組み合わせもできるかも。沖縄は、オリジナルな農作物・畜産物・海産物の宝庫で、まだまだ可能性がありそうです。


**PROFILE**【プロフィール】



さんぺい沖縄そば発信家。本名：山城晋平（やましろ　しんぺい）。1976年那覇市生まれ。2012年に沖縄そばの食べ歩きを始め、ブログやSNS等で沖縄そばを広める活動を行っている。
2023年5月TBS「マツコの知らない世界（沖縄そばの世界）」に出演。2025年には沖縄そばグランプリや桜坂劇場での「沖縄そばの日」イベントを企画・実施。著書に『さんぺいの沖縄そばの歩きかた』（ボーダーインク、2025年）がある。
※本連載は、著者のさんぺい氏の沖縄そば食べ歩き体験に基づいた感想や考察を基に構成されています。



# AIが切り拓く沖縄農業の未来

## データと経験をつなぐスマート農業最前線





国際情勢の不安定化や自然災害、気候変動などの影響、人口減少や高齢者の引退による担い手の急減、農業資材価格を含めた物価高騰への対応など、農業を取り巻く環境が大きく変化する中、生産者の作業負担軽減や経営改善につながる技術としてAIを活用したスマート農業への注目が高まっています。今回は、県内で進む施設園芸と花き生産の事例を通して、AI活用の最前線を紹介します。

## AIがかん水施肥を自動化



### きゅうり栽培の省力化と生産性向上

糸満市の施設できゅうりを栽培する山城 豪さんは、AIを活用した自動かん水施肥システム「ゼロアグリ」を導入しています。このシステムは日射量や土壌水分などのデータをもとにAIが必要な水分量や施肥量を計算し、自動で管理を行います。



ゼロアグリを導入したきゅうり栽培ハウス。
環境データを活用し、最適な水と肥料を自動で供給している。

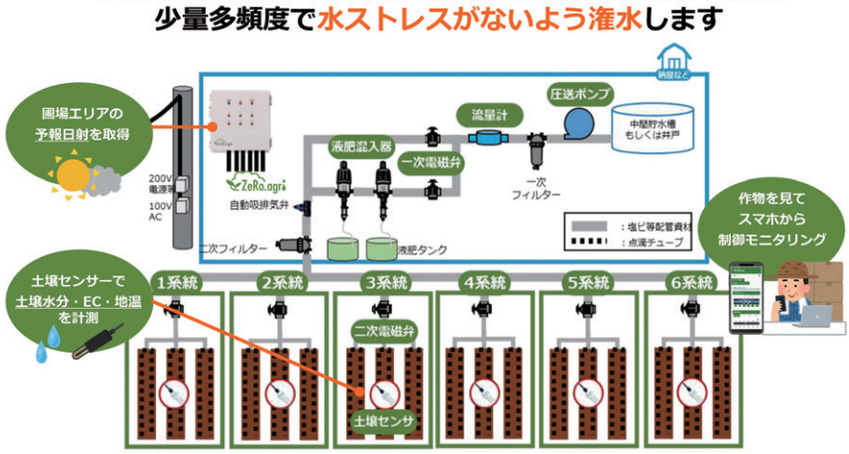
従来は複数のほ場を回りながら、きゅうりの状態を見て、手作業で経験を頼りにかん水や施肥を行っており、経験の浅い従業員に任せることも出来ず、多くの時間と労力が必要でした。また人手不足もあり、追肥作業が遅れてきゅうりの生育に支障も出ていました。ゼロアグリ導入後は、AIが生育環境に応じて必要な水分量や施肥量を予測・計算し、最適なかん水・施肥を自動で行うことで、管理作業の負担が大きく軽減されました。また、スマートフォンで複数のほ場のモニタリングや遠隔制御を行うことが可能となり、作業時間の短縮にもつながっています。特に、かん水作業に要する時間はほぼ0になり、導入前に比べて96%短縮されました。また、ゼロアグリを導入した施設では台風時でもかん水や施肥を行うことができるため、被害が少なく済みます。

さらに、山城さんによれば、ゼロアグリを導入した施設では適切な施設内環境を整えられることから、病害の発生も抑えられ、生産の安定化や収量向上も実感しているといいます。現在は、AI導入によって生まれた時間を活用し、新たな作物の栽培に挑戦するなど、経営の幅も広がっています。

**ゼロアグリの仕組み**

ZeRo.agri

予報日射と土壌水分から作物の蒸散量≒潅水量を予測計算
少量多頻度で水ストレスがないよう潅水します




### 生産者コメント

AIが自動で調整してくれるため、日々の管理が楽になりました。空いた時間を他の栽培にも使えるようになっています。また、ゼロアグリを導入した区画のものは、明らかに樹の状態や葉の色が良いと感じています。

山城 豪さん



# AIによる生育予測で出荷を最適化



## AIが支える小菊産地の出荷計画

全国有数の小菊産地である沖縄県では、生産資材や輸送費の高騰が課題となっており、需要期に向けた計画生産・計画出荷、輸送コストに左右されない販売・所得確保が重要となっています。JAおきなわでは、営農指導員が収集した小菊の生育情報をシステムに入力してデータ化し、AIが出荷時期を予測するシステムの活用を進めています。

従来は紙による情報管理が中心で、情報集約や出荷計画の策定に時間がかかることが課題でした。その結果、需要期における船便輸送のタイミングを逃し、輸送コストの高い空輸を利用せざるを得ない場合がありました。

AIを活用したシステムの導入後は、生育情報をリアルタイムに把握できるため、産地全体の出荷予測や物流計画の精度向上につながっています。船便の活用による輸送コスト削減や販売戦略の強化を通じて、農家所得の向上が期待されています。





県内各地の小菊ほ場で営農指導員が生育状況を確認し、スマートフォンを利用して生育情報を出荷予測システムへ入力。



出荷予測システムでは、各地の営農指導員から報告された情報を集約し、AIで分析、植付けから出荷時期までを予測。

### 関係者コメント

農産物の安定販売には生産・出荷情報がとても重要です。出荷計画の精度を高め、販売先に正確な情報を提供することで販売価格をアップさせ、コスト削減と農家経営の安定につながることを期待しています。

JAおきなわ 谷川さん

## 未来へつなぐスマート農業



AIやDXは、農業者や農業関係者の経験・技術を支える新たなパートナーとして活用されています。省力化だけでなく、生産性向上や経営改善にもつながる取組として、沖縄県内でもAIの活用が進みつつあります。持続可能な農業の実現に向けて、AIを活用したスマート農業への期待はさらに高まっています。



お問合せ先　農林水産部 生産振興課　☎098-866-1653

# 高付加価値観光地づくりと沖縄の魅力

## ～地域に息づく豊かさを未来へつなぐ～


琉球舞踊 ©OCVB

沖縄総合事務局では、観光庁が進める「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」において、沖縄県や（一財）沖縄観光コンベンションビューローをはじめとする関係機関と連携しながら、沖縄・奄美エリアの魅力を世界へ発信する取組を進めています。

この事業は、単に高付加価値旅行者（1回の訪日旅行で100万円以上を消費する旅行者）と呼ばれる人々を呼び込むことを目的とするものではありません。地域に受け継がれてきた自然、文化、歴史、暮らしの価値を見つめ直し、その地域ならではの体験として磨き上げることで、地域への誇りや持続可能な観光地づくりにつなげていく取組です。

近年、世界の旅行者、とりわけ高付加価値旅行者の間では、豪華さや利便性だけではなく、その土地でしか出会えない本物の文化や自然、人々の暮らしに触れる旅への関心が高まっています。そのような中、沖縄・奄美エリアは、琉球の精神性や豊かな自然環境、歴史文化、そして心身の豊かさを育む島として、国内外から大きな注目を集めています。

世界の人々が価値を見いだしている沖縄の魅力とは何でしょうか。そして、その価値を最も身近に持つ私たち沖縄県民は、その魅力をどれだけ認識しているでしょうか。

沖縄は、本土復帰以降、入域観光客数は大きく増加し、観光は沖縄経済を支える重要なリーディング産業となっています。青い海や美しいビーチ、温暖な気候はもちろん大きな魅力です。しかし、国内外の旅行者が沖縄に求めているのは、それだけではありません。

旅行者が沖縄に見いだしているのは、「沖縄でしか体験できない本物の価値」です。

今、世界の観光トレンドは大きく変化しています。単に「どこへ行くか」ではなく、「その土地で何を感じ、どのような気づきや学びを得るか」という本質的な体験が重視される時代になっています。そうした視点で改めて見つめ直したとき、沖縄には世界に誇ることのできる魅力がまだまだ数多く眠っているはずです。


琉球料理 ©OCVB

## 健康長寿を支えてきた暮らしの知恵

沖縄は、かつて世界でも有数の長寿地域としてその名を馳せました。健康的に歳を重ねる人々が多く暮らす「ブルーゾーン」の一つとして注目され、そのライフスタイルは今なお国内外から高い関心を集めています。

特に沖縄本島北部（やんばる）には、古くから人々が自然と共生しながら暮らしてきた歴史があります。その特徴は、単に健康的な食事だけではありません。地域の人々との結びつきや助け合いの文化、日々の農作業などで自然と体を動かす生活、そして生涯にわたり役割を持ち続ける「生きがい」を大切にすることです。

さらに、沖縄には、日々の食事が体を癒やすという「クスイムン（医食同源）」や、心身を健やかにする「ぬちぐすい（命の薬）」という思想が息づいています。ゴーヤーやハンダマなどの島野菜、フーチバー（ヨモギ）などの薬草類を活用した食文化、昆布や豆腐を取り入れた琉球料理など、暮らしそのものが健康を支えてきました。

世界では近年、ウェルビーイング（心身の健康や生きがいを含む幸福な状態）やウェルネス（より良い暮らしを目指す考え方）への関心が高まっています。実は沖縄では、こうした価値観が特別なものではなく、古くから日々の暮らしの中に自然に根付き、育まれてきました。私たちにとって当たり前の暮らしの知恵こそが、国内外から関心を集める貴重な資産であり、「本物の価値」の原点なのです。

## 自然とともに生きる沖縄の精神文化

沖縄の価値を語るうえで欠かせないものが、自然と共生する中で育まれてきた精神文化です。

現代社会では、便利さと引き換えに、人と人、人と自然とのつながりが希薄になりつつあります。そのような中で沖縄の文化は、「人は自然の一部として生かされている」という普遍的な価値観を体現しています。

その根底にあるのは、万物に神が宿るとする自然信仰です。沖縄の人々は、集落の聖地である「御嶽（うたき）」を大切に守り、海の彼方にあるニライカナイという理想郷から豊穣がもたらされると信じてきました。自然の恵みに感謝し、日常的に手を合わせる「ウートートー（祈り）」の習慣は、自然に対する深い畏敬の念の表れにほかなりません。こうした自然との調和は、人間関係のあり方にも独自の美学をもたらしました。他者を思いやる深い優しさである「チムグクル（肝心）」や、「イチャリ

バチョーデー（出会えば皆兄弟）」という言葉に象徴される寛容な精神は、厳しい自然環境や歴史をともに生き抜くための、シマ（集落）の知恵でもありました。

これは単なる伝統文化ではありません。現代社会を生きる多くの人々の共感を呼ぶ「心の豊かさ」や「自分らしく生きるためのヒント」を示しているのです。沖縄の文化に触れることは、人間本来のつながりを取り戻す旅でもあるのです。

## やんばるが伝える豊かな自然の価値

世界自然遺産に登録されたやんばるをはじめとする沖縄の自然環境もまた、世界的に貴重な価値を有しています。

やんばるの森の最大の特徴は、その圧倒的な生物多様性にあります。日本全体の国土面積のわずか0.1％に満たない限られたエリアでありながら、そこには日本に生息する鳥類の約半数、カエル類の約４割が集結しています。そこには、ヤンバルクイナやノグチゲラ、オキナワイシカワガエルなど、世界的にも貴重な固有種や絶滅危惧種である生きものたちが暮らしており、その豊かな生物多様性は世界自然遺産登録の大きな理由の一つとなりました。

この豊かな自然は手つかずの原生林としてただ放置されてきたわけではありません。そこには、古くから森の恵みを必要な分だけいただき、薪炭や建築材として利用しながらも、決して枯渇させないように持続可能な共生を続けてきたシマ（集落）の人々の暮らしの歴史がありました。やんばるの森が今も美しい姿を留めているのは、先人たちが「自然との共生」を、暮らしの知恵として実践し、守り伝えてきた結果にほかなりません。

単なる美しい風景としてのビーチリゾートではなく、数えきれないほどの命が響き合うやんばるの森の深い緑こそ、沖縄が世界に提示できる「豊かな自然の価値」の本質です。

## 世界に選ばれる沖縄の魅力

このように見ていくと、沖縄の魅力は美しい海や観光施設だけではないことが分かります。

長寿の知恵、相互扶助の精神、自然との共生、独自の精神文化や自然観に加え、首里城に象徴される琉球王国の歴史文化、首里織や琉球びんがた、壺屋焼、読谷山花織などの伝統工芸、ユネスコ無形文化遺産に登録された琉球舞踊、空手や琉球料理など、長い歴史の中で受け継がれてきた価値の積み重ねこそが、沖縄ならではの魅力です。


読谷山花織 ©OCVB


焼物 ©OCVB


首里城


紅型 ©OCVB


やんばる国立公園 ©OCVB

近年、観光分野では再生型観光（地域の自然や文化を次世代へより良い形で引き継ぐことを目指す観光）が注目されています。これは、訪れた地域から何かを消費するだけでなく、その地域の自然や文化を理解し、地域とともに未来を育んでいく観光のあり方です。例えば、地元食材を使った琉球料理を味わったり、伝統工芸の体験を通じて地域の文化に触れたりすることは、地域経済への貢献にもつながります。

そして今、国内外の旅行者が求めているのも、こうした「本物」に触れる体験です。沖縄が持つ価値は、決して過去の遺産ではなく、現代社会においても多くの人々の共感を呼ぶ可能性を秘めています。


空手 ©OCVB

## 沖縄の価値を未来へつなぐために

この世界に誇るべき「本物の価値」を未来へつないでいく主役は、他ならぬ私たち沖縄県民自身です。

沖縄の豊かな文化や自然を深く知り、誇りを持って次の世代へ継承していくことは、単なる観光振興の枠を超え、この地域の未来を豊かに創り上げることに直結しています。

沖縄の価値は、決して遠くにあるものではありません。祖先から受け継いできた日々の暮らしの中にあり、地域に息づく祭りの中にあり、美しく広がる森や海の風景の中に確かに存在しています。また、２０１９年の火災から着実に復元が進められている首里城の歩みが見せるように、沖縄の歴史や文化は、多くの人々の熱い思いによって守られ、未来へ受け継がれていくものです。

いま一度、足下にあるその無二の魅力を見つめ直し、「沖縄にしかない本物の価値」を県民一人ひとりが再認識することが大切です。私たち自身がその価値に改めて光を当て、次の世代へ自信を持って引き継いでいくことこそが、これからも国内外の人々を惹きつけ、世界から選ばれ続ける沖縄の未来を切り拓く力になるのではないでしょうか。

▼お問合せ先
運輸部 観光課
☎０９８-８８６-１８１２

# おしえて！どっきん!!
## ～公正取引委員会の　広報・広聴活動～



公取委マスコットキャラクター
**どっきん**
コウトリ星から地球の調査に来た宇宙人。会社やお店のルール違反を目にしたとき、胸のハートが光り、「どっきーん!」となる

仕事の窓 1 総務部

みなさん、「公正取引委員会」をご存じでしょうか？
公正取引委員会（公取委）は、私たちの暮らしと市場経済にかかわる「独占禁止法」などに違反する行為を取り締まっています。
また、取り締まりを行うだけではなく、普及啓発活動にも力を入れていて、職員を講師として派遣して法律や制度の概要を説明したり、団体などの会合にお邪魔して競争政策に関してみなさまと意見交換を行う懇談会も行っています。
今回は、公取委のマスコットキャラクター「どっきん」に解説してもらいながら、公取委や、沖縄で公取委の業務を行う総務部公正取引課の広報・広聴活動を、わかりやすくご紹介します。

## 有識者との懇談会（意見交換会）

公正取引課では、県内各地の経済団体の役員の方々など地元有識者と直接意見交換し、各地域の実情に対する認識を深めたり、意見や要望などを聞くことで、今後の公正取引委員会の法運用に役立てています。

- 経済団体代表
- 消費者団体代表
- 学識経験者
- 報道関係者

有識者との懇談会に参加する「有識者」はどんな人なのかな？

こんな方達が参加しておるぞい

詳細はコチラ！

## 行政機関向け説明～官談法など～

入札談合とは
公表していない予定価格を事業者に伝えてもいいの？　逮捕される!?
官製談合を防ぐために

**公正取引課主催の研修を行います！**

発注機関主催研修への講師派遣も行っています！

11月・12月に、公正取引課主催の官談法研修を行います！入門編と事例編に分けて、対面とオンラインで行います。是非ご参加ください！

**①談合の明示的な指示**
**②受注者に関する意向の表明**
**③発注に係る秘密情報の漏えい**
**④特定の談合の斡旋**
官談法では、以上４つの行為を「**入札談合等関与行為**」として禁止しています。

**53件のコメント**
- 僕の役場も官製談合防止法の研修があったよ。懲戒処分を受けるかもしれないんだね。
- 公正取引委員会とか独占禁止法って難しそうだけど、職員が説明してくれるなら聞いてみたいかも。
- 発注者となる職員はみんな関係がある法律なんだね。

詳細はコチラ！

## 公正取引委員会HP沖縄ページのリニューアル

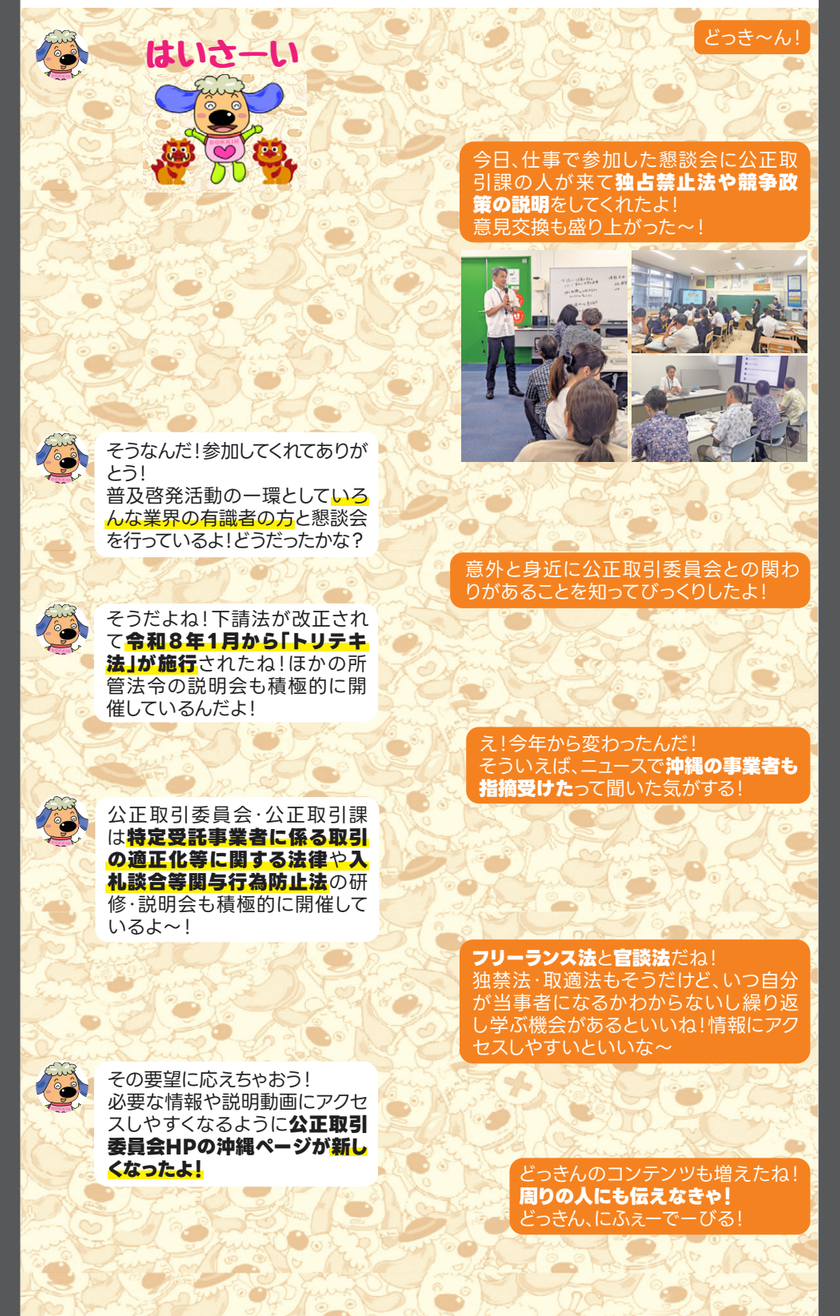
研修へ参加または独学する場合、講師派遣から情報をチェックするのじゃ！

ぼく「どっきん」のお楽しみページ ご当地どっきん（沖縄版）もあるよ!ぜひ見てね！

▼HPはコチラ!
または「公正取引課」とWeb検索

**沖縄総合事務局公式SNS**

みなさん、いかがでしたか？
公取委や公正取引課の活動について、少しでも興味を持ってもらえると嬉しいです。
その他取組についても、HPで紹介するほか、広報誌「群星」でお知らせしたり、沖縄総合事務局各種ＳＮＳ公式アカウントで投稿しています。ぜひ、ご覧ください。




## 公正取引課職員による説明会・講習会

### 最新！価格転嫁・取引適正化ルールの説明会及びフリーランス法説明会（９月10日開催）

**当局経済産業部、沖縄県、沖縄労働局との合同開催！**



取適法の概要や取引適正化・価格転嫁に向けた取組、フリーランス法の概要等について、事業者向け説明会を開催しました！

公正取引課からは、取適法・フリーランス法の概要のほか、改正物流特殊指定、支払告示、改定優越ガイドライン、知財取引指針のポイントについて説明しました。



事業者向け説明会の開催については、今後も予定しています。開催案内は公正取引委員会のHP、沖縄総合事務局のHPやSNSに掲載しています！
皆様のご参加をお待ちしております！

説明会の詳細は←こちら←

独占禁止法、取適法、フリーランス法、官談法等に関するご相談や講師派遣、独占禁止法教室のご依頼などがありましたら、お気軽にご連絡ください。

**派遣費は無料です**

▶お問合せ先　総務部 公正取引課　☎ 098-866-0049

# 我が国の財政の現状や政府の取組を情報発信

仕事の窓2 財務部

沖縄総合事務局では、我が国の財政の現状や政府の取組を広く国民にお伝えし、理解をより深めていただくことを目的として、例年、財務省主計局の幹部を講師として招き、財政講演会を開催しています。

今年度の講演会は、8月19日に財務省主計局の片山主計官を招いて開催しました。より多くの方々にご参加いただけるよう講師が往訪する形にオンライン配信を組み合わせたハイブリッド方式にて実施しました。

また、講演会終了後には、「最近の経済状況等」をテーマに地元経済界、地方公共団体の皆様と片山主計官との意見交換会を行いました。

## 財政講演会

財政講演会では、経済団体、一般企業、大学生など多数の方々にお集まりいただき、財務省主計局の片山主計官から「我が国の財政について」の講演が行われました。



講師の財務省片山主計官

参加者は講演を熱心に聞き入っており、講演会後のアンケートでは、「有意義であった」、「次回の講演会にも参加したい」と多くの評価をいただいたほか、「沖縄に焦点を当てて、ご説明していただいた点は丁寧さがあり大変参考となった」「資料の説明のみならず、今後何を目指しているのか解説があり、非常に有意義だった」などのご意見が寄せられました。

## 地元経済界ほかとの意見交換会

講演会終了後の意見交換会では、「物価高騰や人手不足に加え、島しょ県特有の物流・エネルギーコスト増大や価格転嫁の難しさから、事業者の経営環境は依然として厳しい」、「中小・小規模事業者は観光好調の恩恵を十分に受けているとは言えず、人手不足対策など継続的な支援が必要。為替変動も経営を圧迫している」などの沖縄特有の意見が交わされ、地域経済を取り巻く課題や今後の方向性について認識を共有する貴重な機会となりました。



熱心に聞き入る参加者の皆さん



意見交換会の様子

財務部では、多くの皆様に、より一層ご理解を深めていただけるよう、今後も我が国の財政状況や財政健全化に向けた政府の取組などを情報発信してまいります。



▼お問合せ先
財務部　理財課
☎098-866-0092

# 「食の安全・安心に関するweb講演」を開催しました

仕事の窓 3
農林水産部

沖縄総合事務局では、消費者の方々に食への関心を高めていただくため、食に関する情報を幅広く発信しています。その取組の一環として、令和8年5月27日に食の安全・安心に関するｗｅｂ講演を開催しました。

農林水産省消費・安全局食品安全政策課の山原課長補佐から「食品製造工程で生成する有害化学物質（アクリルアミド）のリスク管理」をご講演いただきましたので、その概要を紹介します。講演内容は、当局ＹｏｕＴｕｂｅをご覧ください。

食品を120℃以上の高温で加熱（「揚げる」、「焼く」、「炒める」など）すると、食品中の「アスパラギン（アミノ酸の一種）」と「還元糖（ぶどう糖など）」が反応しアクリルアミドが生成されます。アクリルアミドは、食品を製造するときだけでなく、家庭の調理でも生じます。私たちがアクリルアミドを摂取してがんになるという明確な証拠は今のところありませんが、動物実験結果ではがんを発症する確率が高まったことから、私たちが食品から摂取するアクリルアミドの量をできる限り少なくする必要があります。

調理の仕方を工夫すると、食品からとるアクリルアミドの量を低く抑えることができます。家庭で出来る調理のポイントは、①炒め調理等に使うじゃがいもは常温で保存すること、②いも類や野菜類は切った後、水でさらすこと、③揚げ調理等をするときは食材を焦がしすぎないようにすること、④炒めるときは火力を弱めにすること、⑤炒めるときは食材の一部が高温にならないよう、食材をよくかき混ぜること、⑥炒め調理の一部を蒸し煮に置き換えることです。これらのポイントをまとめた冊子を農林水産省ｗｅｂページに公表しておりますので、ご参考にしてください。

私たちが食生活について気をつける一番大切なことは、食事のバランスに気をつけることです。そのためには、野菜や果物をしっかりと摂取し、塩辛い食べ物を控えるとがんなどの生活習慣病の予防につながります。また、健康の維持に必要な栄養素を必要量とることにもつながります。

## 調理のポイント

### 食材の準備段階でできること
**炒めたり揚げたりすると**
**～アクリルアミドに変わる成分を増やさない～**

**炒め調理や揚げ調理に使うじゃがいもは常温で保存しましょう**

じゃがいもを長期間冷蔵すると、還元糖が増えます。還元糖が増えたじゃがいもを炒め物や揚げ物に使うとアクリルアミドができやすくなります。冷蔵したじゃがいもを１週間くらい常温に置いておくと、還元糖が減り、炒め物や揚げ物に使うことができます。

＜実験結果＞
- 常温で保存したじゃがいもを炒めるとアクリルアミド濃度が、冷蔵したじゃがいもを使った場合の半分以下になりました。
- 冷蔵したじゃがいもを炒めると焦げやすくなりました。




注）じゃがいもは男爵を使いました。200℃で10分間炒めました。

### 加熱調理の段階でできること
**～炒め調理や揚げ調理でアクリルアミドをできるだけ増やさない～**

**炒め調理や揚げ調理をするときは、食材を焦がしすぎないようにしましょう**

加熱温度が高くなればなるほど、加熱時間が長くなればなるほどアクリルアミド濃度が高くなります。いも類や野菜類を揚げるときは、焦がしすぎず、軽く色が付く程度に仕上げ、炒めるときも焦がしすぎないように注意しましょう。また、食パンをトーストするときは、普段よりも薄めの焼き色に仕上げるようにしましょう。

＜実験結果＞
- 加熱調理で焦げ目がつくほど、アクリルアミド濃度が高くなりました。

～ アスパラガスを炒めた場合 ～




注）200℃で炒めました。

**冊子はこちらから**

**安全で健やかな食生活を送るために**
～アクリルアミドを減らすために家庭でできること～

**講演内容はこちらから**

**食品製造工程で生成する有害化学物質（アクリルアミド）のリスク管理**

▼お問合せ先
農林水産部　消費・安全課　☎098－866－1672

仕事の窓 4
農林水産部

## 特定家畜伝染病の発生に備え、防疫作業説明会を開催

近年、国内外において高病原性鳥インフルエンザや豚熱などの特定家畜伝染病が継続的に発生しています。また、昨年10月には台湾の飼養豚でアフリカ豚熱（ASF※）の発生が確認されるなど、その脅威は決して遠いものではありません。こうした伝播力の強い特定家畜伝染病が発生した場合には、迅速な初動防疫によりまん延を防ぐことが重要です。

沖縄総合事務局では、特定家畜伝染病の発生に備え、農林水産部の職員を対象に、発生農場で実施する防疫作業に関する説明会を開催しています。今年は7月24日に、農林水産省動物検疫所沖縄支所、沖縄県畜産課から講師を招き、国外から家畜の伝染病の侵入を防ぐ動物検疫所の取組や、特定家畜伝染病発生時の防疫作業等について説明いただきました。また、防疫作業を実施する際に自身の身を守り、発生農場から病原体を持ち出さないための防護服の着脱演習も実施しました。

説明会では、実際に発生した場合を想定し、発生後72時間以内に防疫措置を完了するための体制や役割分担について理解を深め、参加者からは、実際の作業を想定した質問や意見が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

当局では、今後も関係機関と連携し、万が一特定家畜伝染病が発生した場合に迅速かつ適切な対応ができるよう防疫体制の強化に努めてまいります。


動物検疫所の取組等について受講


防護服の着脱演習

※アフリカ豚熱（African swine fever, ASF）は、ASFウイルスが、豚等に感染することで発症する致死率が高い伝染病。詳細については、農林水産省ホームページを参照。
URL:https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html

▼お問合せ先
農林水産部　消費・安全課
☎098-866-1672

仕事の窓 5
農林水産部

## 消費者の部屋　夏休み特別講座『親子見学バスツアー』を開催しました

沖縄総合事務局では、令和8年8月14日に「夏休み親子見学バスツアー」を開催しました。当日は小学生の親子6組18名が参加し、私たちが普段飲んでいる牛乳が届くまでの仕組みを学びました。午前中は、沖縄県酪農農業協同組合より「乳牛の一生」についてお話を伺いました。児童からは「牛が健康に長く過ごすための研究はしていますか？」という牛の体調管理に関する質問もありました。（株）宮平乳業の工場では、専門の試験に合格した職員が必ず実際に飲んで検査を行う徹底した品質管理も学びました。

午後は、南城市の（株）宮平農牧で、実際に乳牛を間近で見学しました。児童からは、「台風の時でも搾乳はするの？」という質問があり、「牛のために台風でも毎日同じ時間に搾乳し、停電時は発電機を稼働して対応している」という工夫も学びました。このほか、「牛乳の味が地域によって違うのはなぜ？」といった質問や「牛が1日に水を100リットルも飲むことにびっくりした」「これからも牛乳を飲みます！」などの感想が聞かれ、酪農と乳業について楽しく学んだ1日となりました。

今後も農林水産業に関する情報発信をしていきますので、当局HPや公式SNSもご覧ください。


沖縄県酪農農業協同組合職員の説明


（株）宮平乳業の工場見学


（株）宮平農牧の牧場見学

▼お問合せ先
農林水産部　消費・安全課
☎098-866-1672

仕事の窓 6
農林水産部

# キッチンの排水口のその先は？
## ～汚泥（おでい）が肥料になるまで～

沖縄総合事務局では、地域資源を活用した肥料の生産について事例収集や意見交換を行っています。今回は、石垣市下水道課の取組として、石垣西浄化センターをご紹介します。

### 排水口のその先へ

みなさんが、キッチンやお風呂、トイレで毎日使っている水。その水が排水口に流れた後、どこへ行くのかご存じでしょうか。

石垣市にある石垣西浄化センターでは、家庭などからの排水を処理し、きれいな水にして海に放流しています。排水をきれいにするために活躍しているのが微生物です。汚れを分解し役目を終えた微生物は、汚泥として施設内に蓄積します。


石垣西浄化センター

### 熱源にもなる汚泥

浄化センターでは、たまった汚泥からガスを発生させ、ボイラーの燃料にしています。燃料には重油も使いますが、ガスを貯蔵し効率的に使用することで、化石燃料の削減に取り組んでいます。


汚泥からのガスを集める設備

### そして畑の栄養に

さらに残った汚泥を、遠心分離機で脱水し、先ほどのボイラーで乾燥させると、農業に欠かせない肥料となります。施設を維持管理する㈱西原環境おきなわでは、年間１６０ｔほどの肥料を製造し、農家へ提供しています。ボイラーでしっかり乾燥させた肥料は臭いも少なく、農家に好評です。

### 排水口からさとうきび畑へ

製造された肥料は石垣市内のさとうきび畑などで活用されています。石垣市の担当者によると、この肥料を使った農家から「さとうきびの生育が良くなったから見に来て！」と畑に案内されることもあるそうです。

汚泥は、廃棄物として処理するとコストも手間もかかります。また、日本で使われる化学肥料はほぼ全量を輸入に頼っています。このような中、地域にある資源を肥料として活用するこの取組は、持続可能な社会の実現に向けた好事例となっています。


しっかり乾燥した肥料は使いやすい


汚泥から生まれた肥料はさとうきび畑へ

▼お問合せ先
農林水産部　消費・安全課
☎０９８－８６６－１６７２

仕事の窓 7
農林水産部

# 沖縄県産農林水産物・食品のポップアップストアを開催しました！

沖縄総合事務局では、観光客に県産農林水産物・食品の魅力を伝え、消費拡大につなげるため、県内観光地等での販売促進イベントや広報活動を行いました。

具体的には海洋博公園（本部町）とあやはし館（うるま市）でポップアップストアを開催するとともに、SNS、機内誌、観光情報雑誌等の活用、チラシの作成・配布などにより、広報活動を行いました。

ポップアップストアには2会場の計6日で、2,840人の来店客が訪れました。来店客からは「どこで販売していますか?」や「翌日、直売所に立ち寄ります。」などの声が上がりました。

また、レシートキャンペーンの実施により観光客の農産物直売所等における購買行動に関する調査・分析を行いました。本キャンペーンにおける参加総数は1,990件、実購買金額は合計786万1,021円となりました。品目ごとの結果ではマンゴーが売上首位となりました。応募件数では、直売所によっては黒糖が首位となる場合もありましたが、売上寄与はマンゴーが圧倒的でした（＊）。キャンペーンの認知としては、SNSが45・1％と最大で、デジタル媒体が応募の主導線となっていました。次いで直売所店頭23・0％、観光案内所等の配布チラシ18・8％と現地接点も一定の寄与を示しました。

本イベントやキャンペーン等の結果を踏まえ、引き続き県産農林水産物・食品の販売力強化に向けた取組を実施していきます。



レシートキャンペーンのチラシ


ポップアップイベントの様子

（＊）レシートキャンペーン
購入品目ベスト5

| | 品目 | 件数 | 売上(万円) |
|---|---|---|---|
| 1 | マンゴー | 661 | 237.8 |
| 2 | バナナ | 413 | 39.9 |
| 3 | 黒糖 | 403 | 29.2 |
| 4 | パイナップル | 258 | 45.6 |
| 5 | 海ぶどう | 121 | 15.0 |

※ 速報値となります。

▼お問合せ先
農林水産部　食料産業課
☎098-866-1673

仕事の窓 8
経済産業部

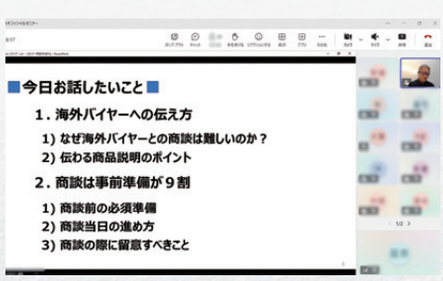
# 沖縄の魅力的な特産品を海の向こうへ！
## ～海外展開のセミナーを開催しました～

日本最大級の「食」の国際商談会「14th沖縄大交易会2026」が、11月26日・27日に開催されます。

各地からバイヤーが集うその舞台で、県産品の魅力等をしっかり伝えるためには、商談前の準備が重要、商談の成否は名刺交換の前から始まっています。そこで沖縄総合事務局では、7月29日に、海外市場へ販路拡大を目指す事業者等を対象に、海外商談成功のポイントを学ぶセミナーを開催しました。本セミナーは沖縄大交易会オフィシャルセミナーとなっています。

セミナーでは、Food Export & Safety Services代表の永田 功氏から、海外商談ならではの考え方や、商品の魅力を「相手に伝わる形」にするコツを、トップ・トレーディング（株）の望月 成展氏からは、オンライン商談の資料づくりや環境整備、信頼の築き方を紹介いただきました。その他、沖縄大交易会や、経済産業省・農林水産省の輸出促進施策の紹介を行いました。

当局では、これからも関係機関と連携し、県内事業者の海外展開を後押しします。



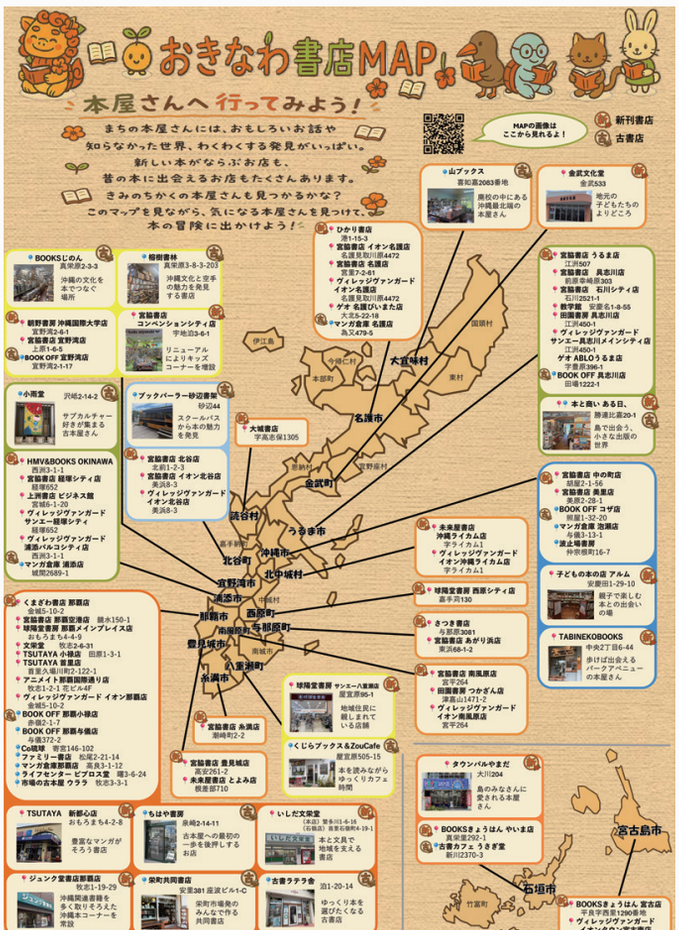
永田氏のオンライン登壇


会場にて、各種施策の紹介を行いました。

▼お問合せ先
経済産業部　商務通商課
☎098-866-1731

# 「おきなわ書店MAP」を作成しました！

仕事の窓 9 経済産業部




おきなわ書店MAP（協力:沖縄県書店商業組合）



読み聞かせの様子

沖縄総合事務局では、沖縄県内の書店振興に関する取組を行っています。このたび、県内書店の魅力を広く発信し、子どもたちをはじめ多くの方々に本や書店に親しんでもらうことを目的に、県内の書店の場所を紹介する「おきなわ書店MAP」を作成しました。

8月3日に当局で開催した小学生向けイベント「こども見学デー」では、この「おきなわ書店MAP」の展示に加え、県内出版社や沖縄をテーマにした「沖縄本」の展示、書店の特徴や魅力を紹介した書店紹介紙を配布しました。そのほか、県内で活動する読み聞かせ講師による絵本の読み聞かせや、活版印刷によるオリジナル栞づくりを実施し、多くの子どもたちで賑わいました。

「おきなわ書店MAP」「書店紹介紙」は、当局ホームページで公開しています。県内には個性的で魅力的な書店がいくつもあります。ぜひご覧いただき、お気に入りの本屋さんを見つけたり書店巡りを楽しんだりする際にご活用ください。

当局では、今後も関係する皆様と連携しながら、引き続き県内の書店振興に取り組んでまいります。

おきなわ書店MAP
はこちらから↓

沖縄総合事務局HP





活版印刷体験(栞づくり)
(協力:中村印刷株式会社(南風原町))




活版印刷した栞

▼お問合せ先
経済産業部　商務通商課　コンテンツ産業支援室
☎098-866-1731

仕事の窓10
開発建設部

# コンプライアンスに関する出前講座の案内

沖縄総合事務局では、コンプライアンス推進計画を策定し、様々な取組（会議、研修、講習会、ミーティング等）を実施しています。

特に全職員を対象とした「コンプライアンス・ミーティング」では、職員同士が意見交換を行い、法令遵守の意識を高めるとともに、社会から求められる公務員としての責任について考える機会としています。

開発建設部では、令和7年度から、こうしたコンプライアンスに関する取組を県内の行政機関や法人等へ紹介する「コンプライアンス出前講座」を実施しています。

出前講座では、当部の取組事例、コンプライアンス・ミーティングの実践内容のほか、過去の不祥事事案や再発防止策などを交えながら、職員が講義を行います。

昨年度の講座では、実施した企業団の職員から「開発建設部が実施している多くのコンプライアンスの取組に触れ、新たな学びを得ることができた」などの感想が寄せられ、参加者のコンプライアンス意識の向上につながっています。

また、本取組は、国家公務員倫理審査会が公表する「各府省等における倫理保持に関連する取組事例」において、令和7年度の「りんりん賞」に選定されました。なお、令和7年度は全国8機関が選定されています。



出前講座の様子(県内の企業団向け、R7.9.30実施)

■講義内容
○コンプライアンスについて
○過去の発注事務に関する不祥事と再発防止対策
○発注事務担当者及び職員が遵守すべき事項
○コンプライアンス・ミーティング など

■ご利用にあたって
【開催時間】平日10時～17時の間で1時間程度
【出前範囲】沖縄県内どこへでもお伺いします
【対象】地方公共団体、公益法人等
【経費等】講演料は無料です。※講師派遣の必要経費はご負担頂く場合があります

▼お問合せ先
開発建設部　適正業務管理官
☎098-866-0031

仕事の窓11
開発建設部

# ゴヤガジュマル再生への歩み
## ～これまでの経緯～

令和8年6月1日、台風6号の強風により、国道330号沖縄市胡屋交差点「ミュージックタウン音市場」前のガジュマルが倒木しました。長年地域に親しまれてきたガジュマルの倒木を受け、南部国道事務所は直ちに再生の検討を開始しました。

6月12日には、樹木の専門家等による現地確認を実施しました。その結果、懸念された根の病気はなく樹勢にも問題がないことが判明し、「適切な環境で管理すれば再生の可能性は十分認められる」との見解が示されました。

これを受け、沖縄市が管理する近隣の八重島公園へ移植し、回復状況を見ながら元の場所へ戻す方針が決定しました。そして、6月19日に無事移植作業が行われました。

移植後は、新たな葉が芽吹くなど樹勢の回復傾向が確認されています。また、ガジュマルの再生に向けた取組を多くの皆様に親しみを持って応援していただけるよう、「ゴヤガジュマルがんじゅープロジェクト」として展開することとしました。

本名称には、長年愛されてきたガジュマルが、もう一度力強く「がんじゅー（元気・健康）」に蘇ってほしいという願いが込められています。

南部国道事務所は、今後も地域の皆様とともにガジュマルの成長を見守りながら、再生・復元に向けた取組を進めてまいります。


八重島公園へ移植した「ゴヤガジュマル」

▼お問合せ先
開発建設部　南部国道事務所
☎098-861-2336

# 令和８年度
# 船員労働安全衛生月間の実施

仕事の窓12
運輸部

例年９月１日から30日までの１か月間は、船員災害の減少と船内における安全で快適な作業環境、居住環境の実現を目指して、『船員労働安全衛生月間』として実施しています。今年度は「その一歩　見守る家族　待つ笑顔」をスローガンに、各取組を実施しました。

## 第53回沖縄船員災害防止大会

令和８年９月１日に那覇第二地方合同庁舎において第53回沖縄船員災害防止大会を開催し、船員労働安全衛生月間の取組がスタートしました。

本大会には約20名の船員、海事関係者が参加し、船員災害・疾病の減少目標の達成を目指すことを誓った大会宣言がなされ、その後、船員災害防止協会の鵜山久専務理事による「船員のメンタルヘルスの確保とハラスメント対策」の特別講演が行われ、船内での良好な人間関係や信頼関係を構築するための有意義な講演となりました。



沖縄船員災害防止大会（式典）の様子



沖縄船員災害防止大会（式典）の様子


沖縄船員災害防止大会（特別講演）の様子

## 訪船指導による点検指導

月間中は、訪船指導員が県内の各港に停泊中の船舶を訪れ、安全面では転落・墜落などの事故防止措置、係船索を含む係船設備の点検・保守の周知と、衛生面では医薬品の備え付け状況の確認、飲料水の管理状況などの点検指導を行いました。


訪船指導の様子

船員災害発生率は陸上労働者の災害に比べて高くなっております。

船員が休職・離職することは海運業及び漁業にとって人的資源の損失であるだけでなく、陸上に比べ高い船員災害発生率は、若年者に船員という職業を敬遠させる要因にもなることから、これらの取組を通して船員の安全衛生に対する意識の高揚及び船員災害防止対策を一層推進していきます。

▼お問合せ先
運輸部　船舶船員課
☎０９８－８６６－１８３８





起源は定かではありませんが、15世紀末の記録が残っています。与那国花織、与那国ドゥタティ(平織)、与那国カガンヌブー(細帯)、与那国シダディ(手巾)の4種の織物があります。原料は絹糸、綿糸、麻糸などで、染料は地元の植物染料を用いています。

## 与那国織（よなぐにおり）

### 心を込め織られる織物

シダディ(手巾)は旅の安全と健康を祈る「守神」として織られていましたが、人頭税以降は、思いを託す「思いのシダディ」として織られるようになったと伝えられています。またカガンヌブー(細帯)は、女性から男性への愛の告白として送られ「夫婦絆」という意味があったそうです。







起源は13世紀頃、糸芭蕉の原皮から取れる糸を手で績み、絣糸は手くくりし、琉球藍、相思樹(そうしじゅ)等の植物染料で染め、織り上げます。沖縄固有の織物で、軽くてさらりとした風合いをもち、肌にべとつかないので、古くから人々に愛されています。

## 喜如嘉の芭蕉布（きじょかのばしょうふ）

### 原材料から地元産

糸芭蕉から糸が取れるまで3年もかかり、一反仕上げるのに必要な糸芭蕉の数は約200本にもなります。このように、糸芭蕉の栽培から織物の完成まで、一貫して手作業で製作されていることが喜如嘉の芭蕉布の大きな特徴です。





# 伝 Okinawa's Traditional Crafts 沖縄の伝統的工芸品 その3



起源は未詳ですが、記録の上では17世紀初めの薩摩への貢納布(こうのうふ)として知られています。苧麻(ちょま)を原料として絣は手くくり又は、すり込み捺染(なっせん)で、染料は琉球藍や、クール(紅露)等の植物染料を用いています。

## 八重山上布（やえやまじょうふ）

### 大正天皇皇后両陛下への献上品

大正天皇即位を奉祝して、十文字柄と亀の甲柄を各一反ずつ織り上げ、天皇・皇后両陛下に献上されました。八重山上布は、苧麻(ちょま)の繊維を原料に織られた白上布で、風通しがよく、夏の衣服としては最適です。





綿糸をインド藍、琉球藍、フクギ、クール(紅露)等の植物染料で染めた絣織物で、たてうね織の一種です。主に南国的な明るさを持つ帯で、ネクタイや袋物を生産しています。ミンサーの模様は5つと4つの組み合わせが交互に織られ「いつ(五つ)の世(四つ)までも末永く」という願いが込められています。

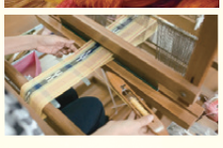


## 八重山ミンサー（やえやまみんさー）

### シルクロードを通して伝わった？

八重山ミンサーの起源はアフガニスタンの小さな絣の帯と言われており、チベット、中国を経て伝来したと言われております。なお、沖縄本島で製織されている首里ミンサー、読谷山ミンサーは南方の紋織りの流れといわれています。





## うちな～んQ

今日から使える
沖縄雑学クイズ

# 慶佐次湾のヒルギ林




出題：東村慶佐次湾のヒルギ林に生息するヒルギの種子はどのように発芽するでしょうか？



1 地面に落下した後に発芽　2 親木についたまま発芽　3 水面を浮遊しながら発芽

慶佐次湾のヒルギは、果実が親木についたまま種子が発芽・成長し、棒状の苗に育ってから落下します。この仕組みを人間の出産になぞらえて「胎生発芽」と呼びます。

ヒルギが育つ海水と淡水が混ざり合う汽水域の泥地は、潮の干満や酸素不足など植物にとって過酷な環境です。胎生発芽により苗の状態まで育ってから落下することで、素早く根を張ることができます。このようなヒルギ類などの植物群落は「マングローブ」と呼ばれています。

約10haにおよぶ慶佐次湾のヒルギ林は、沖縄本島最大規模として国の天然記念物に指定されています。その周辺に整備された「東村ふれあいヒルギ公園」では、全長335mの遊歩道からヒルギ林の間を散策し、間近で観察することができ、カヌーツアーも人気を集めています。





正解は **2 親木についたまま発芽** です！

## おしごと紹介



運輸部陸上交通課の義間です。私は、トラックを用いた運送事業に対する許認可業務を担当しています。

幼い頃から車が好きだったこともあり、現在、車両を活用した事業に携わる仕事ができていることに、大きなやりがいを感じています。

また、事業者や他の行政機関とやり取りする機会が多く、さまざまな法令や専門用語に触れることで、日々知識を深めながら業務に取り組める点にも魅力を感じています。

さらに、運輸部ではトラック運送事業だけでなく、バスやタクシー、船舶を用いた事業にも携わる機会があります。今後はこうした幅広い分野の業務にも挑戦し、経験を積んでいけることを楽しみにしています。



運輸部若手職員での「Good Vibes Trip」の様子




沖縄総合事務局人事課採用担当の新城です。

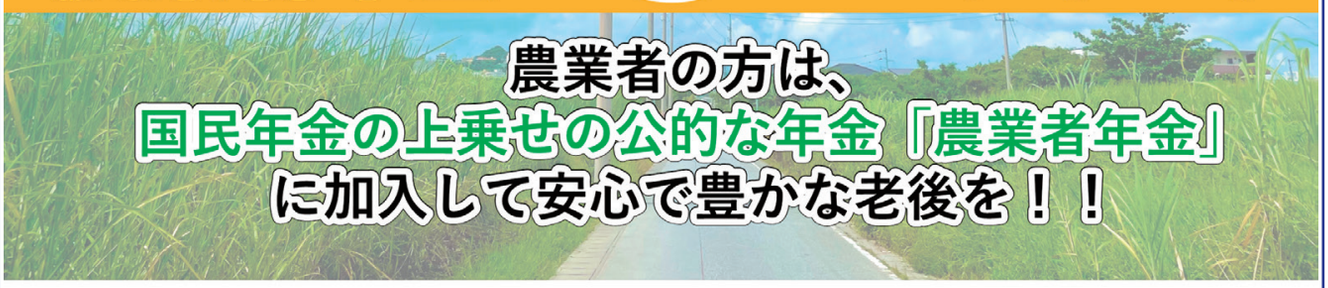
当局では、女性職員に限らず、男性職員が育児休業を取得するケースも増えております。

育児休業を取得する職員の代替要員として、任期付職員を募集しておりますので、意欲のある方、興味がある方は、ぜひ当局HPの採用情報をご覧ください！！

Information お知らせ①

農業者の老後に安心を

# 農業者年金の6つのポイント




## 01 農業者なら広く加入できる

途中脱退や、再加入も可能です。

## 02 積立方式・確定拠出型で少子高齢時代に強い

## 03 毎月の保険料は、自分で選択できる

月額２万円（35歳未満で政策支援加入の対象でない方は１万円）から月額6万7千円の間で選択可

## 04 「終身年金」であり、死亡一時金がある

80歳前に亡くなった場合、死亡一時金をご遺族にお支払いします。

## 05 支払った保険料は全額社会保険料控除の対象に

将来年金として受け取る際も控除の対象となる等、税制面で優遇措置があります。

## 06 一定要件を満たすと、保険料の国庫補助がある

認定農業者かつ青色申告の方など、一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助があります。

### 農業者年金へは、次の要件を満たす方なら、どなたでも加入できます。

- 年間60日以上農業に従事
- 国民年金第１号被保険者（国民年金保険料納付免除者を除く。）
- 65歳未満（60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者）

●農業者の老後の備えは、「国民年金」＋「農業者年金」で安心です！

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJA又は農業者年金基金にお問合せください。

独立行政法人 農業者年金基金
●専門相談員
TEL：03-5919-0371

ＪＡおきなわ
●本店担い手支援統括部
TEL：098-831-5565

詳しくは… 農業者年金基金 検索 https://www.nounen.go.jp

Information お知らせ②

11月は

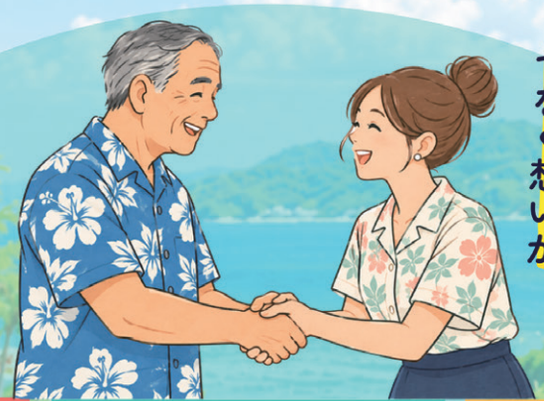
# 事業承継啓発月間

2026年のテーマ

## みんなで支えよう！

## ＼つぎんちゅの輪／

ー地域のミライをつなぐ事業承継ー



地域を元気に

つなぐ想いが

SNSで発信中！

沖縄県の後継者不在率 61％

2025年㈱帝国データバンク
全国「後継者不在企業」動向調査から引用

### 情報発信




- SNS
- テレビ番組
- ラジオ番組

### 相談サポート

- 相談会 with 自治体



### 学び・つながり

- 支援機関・企業向けセミナー
- 各種セミナー
- 交流会



**主催**

内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、（独）中小企業基盤整備機構
沖縄事務所、沖縄県事業承継・引継ぎ支援センター
協力：沖縄県事業承継ネットワーク

詳細はこちらから▶

内閣府沖縄総合事務局
経済産業部中小企業課

むりぶし 群星 muribushi
11・12月号 第428号 2026

■編集・発行／内閣府沖縄総合事務局総務部総務課 広報室
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号 TEL 098-866-0031（代表）




公式 Website ▶ https://www.ogb.go.jp
公式 X ▶ @okisokyoku
公式 Facebook ▶ @okisou.naikakufu
公式 YouTube ▶ @内閣府沖縄総合事務局